

第 1 1 回イオンカップソフトバレーボールフェスティバル 開 催 要 項

- 1 主 催 長岡市バレーボール協会 長岡市ソフトバレーボール連盟
- 2 共 催 イオンリテール(株) イオン長岡店
- 3 主 管 長岡市ソフトバレーボール連盟
- 4 後 援 (公財) 長岡市スポーツ協会
- 5 日 時 平成30年3月4日(日)
開 館 8:20 代表者会議 8:40
開 会 式 9:00 競 技 開 始 9:30~
- 6 会 場 長岡市みしま体育館 長岡市南部体育館
※参加チーム数により、その他の会場を使用することがある。

7 種 別

	種 別	コート内競技者の年齢基準
①	小学生(低・高学年)の部 (男女の区別はない)	低学年の部：小学4年生以下4名が出場 高学年の部：小学5・6年生4名が出場 但し、4年生以下を含めてもよい
②	レディースの部	20歳以上39歳以下の成人の女性2名及び 40歳以上の女性2名が出場
③	ゴールドの部	50歳以上の男・女 各2名ずつが出場
④	メンズの部	20歳以上39歳以下の成人の男性2名及び 40歳以上の男性2名が出場

※年齢の基準日は平成30年4月1日現在とし、②と④は年齢上位の者が下位区分として出場できる。

- 8 参加対象 長岡市ソフトバレーボール連盟加盟クラブチーム及び長岡地域で活動するソフトバレーボール愛好チーム(加盟することで参加が可能です。)
※ただし、大会は相互審判制で行うため、各チームは主審、副審、線審、記録記入可能者を有し、原則として6名以上で申し込むこと。種別①相互審判制の観点から、監督以外の大人を1名ベンチ入りさせる事が出来る。
- 9 競技規則 (1) (財)日本バレーボール協会制定「2017年度ソフトバレーボール競技規則同小学生競技規則」及び「開催要項」を適用する。
(2) 1チームは監督1名(小学生の部においては成人者とする)及び選手は以下の年齢基準を満たす競技者4名、交代競技者4名の計9名以内で構成することを原則とする。
①小学生(低・高学年)の部
低学年の部：男女の区別を設けず小学4年生以下8名。
ネットの高さを180cmとする。
高学年の部：男女の区別を設けず小学5・6年生8名。但し、4年生以下を含めてもよい。ネットの高さを200cmとする。
②レディースの部
20歳以上39歳以下の成人女性及び40歳以上の女性で原則6名。
但し、年齢区分の上位の者が下位の区分として出場してもよい。
不参加チームが出た場合はクラスを繰り上げ変更することがある。
③ゴールドの部
50歳以上の男・女で原則6名。

④メンズの部

20歳以上39歳以下の成人男性及び40歳以上の男性で原則6名。

※但し、年齢区分の上位の者が下位の区分として出場してもよい。

- (3) 選手・監督は、複数チームに重複して登録できない。
- 10 競技方法 (1) 競技はすべて3セットマッチで行い、予選リーグ及び決勝トーナメント方式で行う。(3位決定戦は行わない) 予選リーグにおける同時勝敗の順位決定は①採点法により高い順に決定する(勝者2点、敗者1点、棄権又は没収0点)②採点法の得点と同じ場合はセット率、ポイント率の順で決定する。③ポイント率も同じ場合は対戦結果の勝者を上位とする。
- (2) レディースの部は、前年度成績に基づくクラス別戦とする。(別紙クラス別チーム一覧を参照)但しチーム数が少ない時はすべてAクラスとする。(今年度新たに参加するチームは基本Bクラスからの参加とする。)
- (3) 使用球は公認球ミカサ社製とする。
小学生の部は、ミカサソフトバレーボール高学年用及び同低学年用とする。
- (4) 選手はユニフォームの胸及び背部に番号をつけること。
- 11 打合せ抽選会 平成30年2月24日(土)午後7時から長岡市市民体育館会議室で行うのでチーム代表者は出席すること。(代理可)
打合せ抽選会に不参加のチームには、特別の連絡事項のある場合を除き、組合せ結果等の連絡は行なわないので十分留意すること。
- 12 参加料 小学生の部：1チーム2,000円
レディース、ゴールド、メンズの部：1チーム3,500円
(打合せ抽選会時に持参)
- 13 表彰 上位1～3位を表彰する。
- 14 申込み 平成30年2月10日(土)までに所定の用紙に必要事項を記入し、郵送で下記事務局宛に申し込む。
〒940-0094 長岡市中島3丁目11-9
長岡市ソフトバレーボール連盟事務局
大高 郁雄 (電話 090-4623-2653)
- 15 その他 (1) 選手の変更は大会当日の代表者会議終了までに、所定の「構成メンバー表」に記入し本部まで提出すること。(チーム単位の入替えは不可とする。)
- (2) 大会当日の会場設営協力者を各チーム1名選出すること。(集合：8時)
- (3) チームは相互審判制や不測の事態に備え、年齢構成を満たして6人以上での編成で努めること。やむを得ず人員が不足する場合は、チームスタッフ等を別途帯同させるなど、相互審判に支障のないように配慮すること。(なお、その場合のチームスタッフはベンチに入ることは認められない。)審判担当者は、長・短2種類の笛を用意すること。
- (4) 小学生の部においては、主審は各チームの監督等成人者があたるのが望ましい。線審、点示等については極力児童が行えるよう指導・育成に努める。
- (5) 記録方法については、各チームとも事前に確認しておくこと。
- (6) 貴重品等の管理は各チームの責任において行う。
- (7) けが、病気等については、各チームが責任を持って対処すること。傷害保険等は各団体で事前に加入しておくこと
- (8) 駐車台数に限りがあるので、車での来場の際は極力乗り合わせてくること。
- (9) レディース・ゴールド・メンズの部の前年度優勝チームはカップを開会式に持参のこと。

